

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年11月29日】第105号



育て！ ビオラとパンジー

11月22日(月), 1年生と3年生は一人1鉢ずつ, ビオラあるいはパンジーの苗を持ち帰りました。東京農業大学グリーンアカデミーの生徒さんたちが栽培され, 農大稲花小の子どもたちにとプレゼントしていただいたものです。グリーンアカデミーでは, シニア世代の生徒さんたちが熱心に, 花, 野菜, そして健康について学んでいます。子どもたちが持ち帰った小さな苗, それぞれの家庭の花壇やプランターで, あるいは鉢植えとして大切に育て, 可愛い花を楽しんでほしいと思います。なお, 2年生は理科の学習で, 一人1鉢, チューリップの栽培を行っています。こちらも, 春の開花が楽しみです。

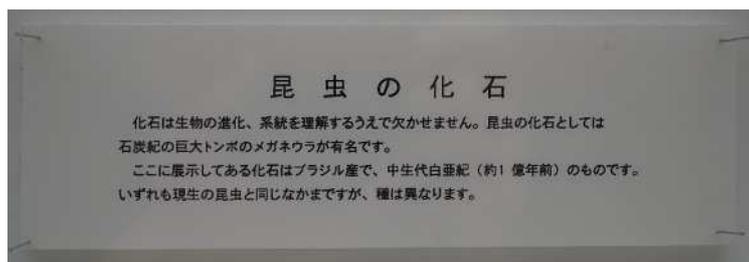
◆ 東京農業大学グリーンアカデミー <https://www.nodai.ac.jp/greenacademy/>

巨大なゴキブリ・化石のゴキブリ

毎月, 一財団法人進化生物学研究所からご提供いただいている素晴らしい昆虫標本ですが, 12月に本校で展示していただくのはなんと, 世界でも大きなゴキブリの一種, コロンビア産マンモスゴキブリ。同じ個体の翅を広げた標本と, 翅を閉じた標本, 両方によりその大きさを実感します。そのほか四角い模様が印象的なオオメンガタゴキブリ, さらに白亜紀の化石になったゴキブリの祖先なども見ることができます。一般的なゴキブリのイメージとは違い, 森林性のゴキブリは, 立派な森の生き物です。

本校の英語教員は, オーストラリア, イギリス, そしてアメリカの出身ですが, オーストラリア出身の先生からは, 「オーストラリアにはこれに似たものがあります」とのこと。一方, イギリス出身の先生からは「イギリスにはいないので, ニューヨークに行ったときに見たのが生まれて初めての経験です」と楽しい感想も聞かれました。農大稲花小の子どもたちにも, 単に「気持ち悪い」「汚い」ではなく, サイエンスの視点をもってゴキブリ標本を見てほしいものです。





キャンパスに秋探し

11月26日(金)、1年生は2クラスそろって、東京農業大学世田谷キャンパスに秋探しに出かけました。新型コロナウイルス感染防止のため、長くキャンパスへの入構が制限されてきましたが、子どもたちの学習のために配慮していただいたものです。すっきり爽やかに晴れた秋の日です。子どもたちは元気にキャンパスを歩き、カラフルな落ち葉や、どんぐり、ヒマラヤスギの松ぼっくり、ユリノキの不思議な形の種などを探しました。

キャンパスの中にある東京農業大学農友会馬術部の厩舎では、大切に世話をされている馬を見せてもらいました。馬術部部員の学生さんたちに親切に説明を受け、また、たくさんの質問にもわかりやすく答えていただきました。馬の優しい表情に魅入られ、馬場の砂の蹄鉄の跡にも興味津々の子どもたちでした。



町探検

11月26日(金)、2年1組は生活科授業の一環として、経堂農大通り商店街へと「町探検」に出かけました。「町探検」とは、教員の指導の下、子どもたちが数名ずつのグループになり、店頭で、許された場合は店内で、お店の方々にインタビューさせていただこうとするものです。

事前をお願いしておいた果物屋さん、パン屋さん、診療所、ラーメン屋さん…と様々なお店にご協力いただきました。中には東京農大卒業生のお店もありました。小田急線経堂駅から小学校に登校してくる子どもたちにはいつも通る商店街ですが、改めてそれぞれのお店についてじっくり知る機会となりました。本校としても、農大稲花小の子どもたちをいつも親切に見守っていただいている町の皆様に改めて感謝しています。2年2組の町探検は、今週です。楽しみです。

様々な地域から通学してくる稲花小の子どもたちです。2年生にはこれを機会に、それぞれの家の近くの商店街にも、町探検の経験を活かして興味・関心をもってほしいと願っています。保護者の皆様にも、近所への買い物や散歩などに子どもたちをお連れいただくようお願いします。

アフタースクール

本校内にあるアフタースクール(放課後NPOアフタースクール)は、原則として毎週一回の会合を行うなど、日ごろから密接に連絡しながら、子どもたちの成長を見守っています。

下校時刻になると、たくさん子どもたちが校内にあるアフタースクールに向かいます。おやつを食べたり、自由に遊んだり、ピアノ、そろばん、サッカー、合気道、フェンシング、STEMなどの習い事をしたり、スペシャルプログラムに参加したり……と、それぞれがのびのびと過ごしています。学校では遊び足りない同級生同士が仲良く遊んだり、1年生から3年生までの3学年が混ざって遊んだりする様子も見られます。好きな遊びや工作などにじっくり取り組む子どももいます。このように、アフタースクールは学校生活を補完しながら子どもたちの成長を促す役割も果たしているのです。学年が進んでも、あるいはむしろ、学年が進んでくればなおさら、子どもたちが遊べる場所、息抜きできる場所としてもアフタースクールは大切な存在であると考えています。

◆ 農大稲花アフタースクールHP <https://www.nodaitoka.ed.jp/afterschool/>

◆ 農大稲花アフタースクールブログ <https://nodai.cc-town.net/blog71/>

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子